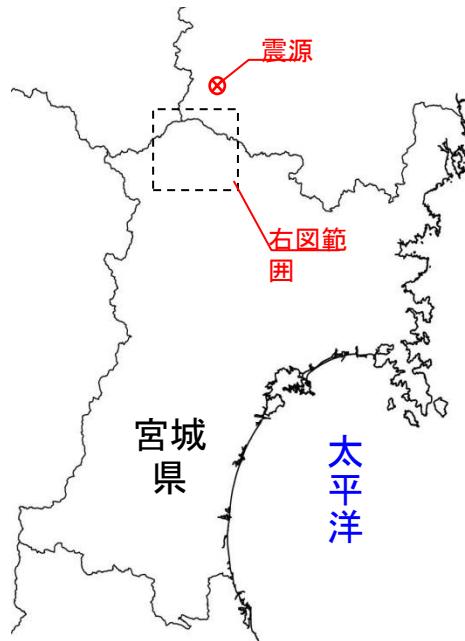


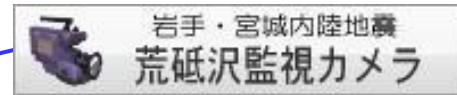
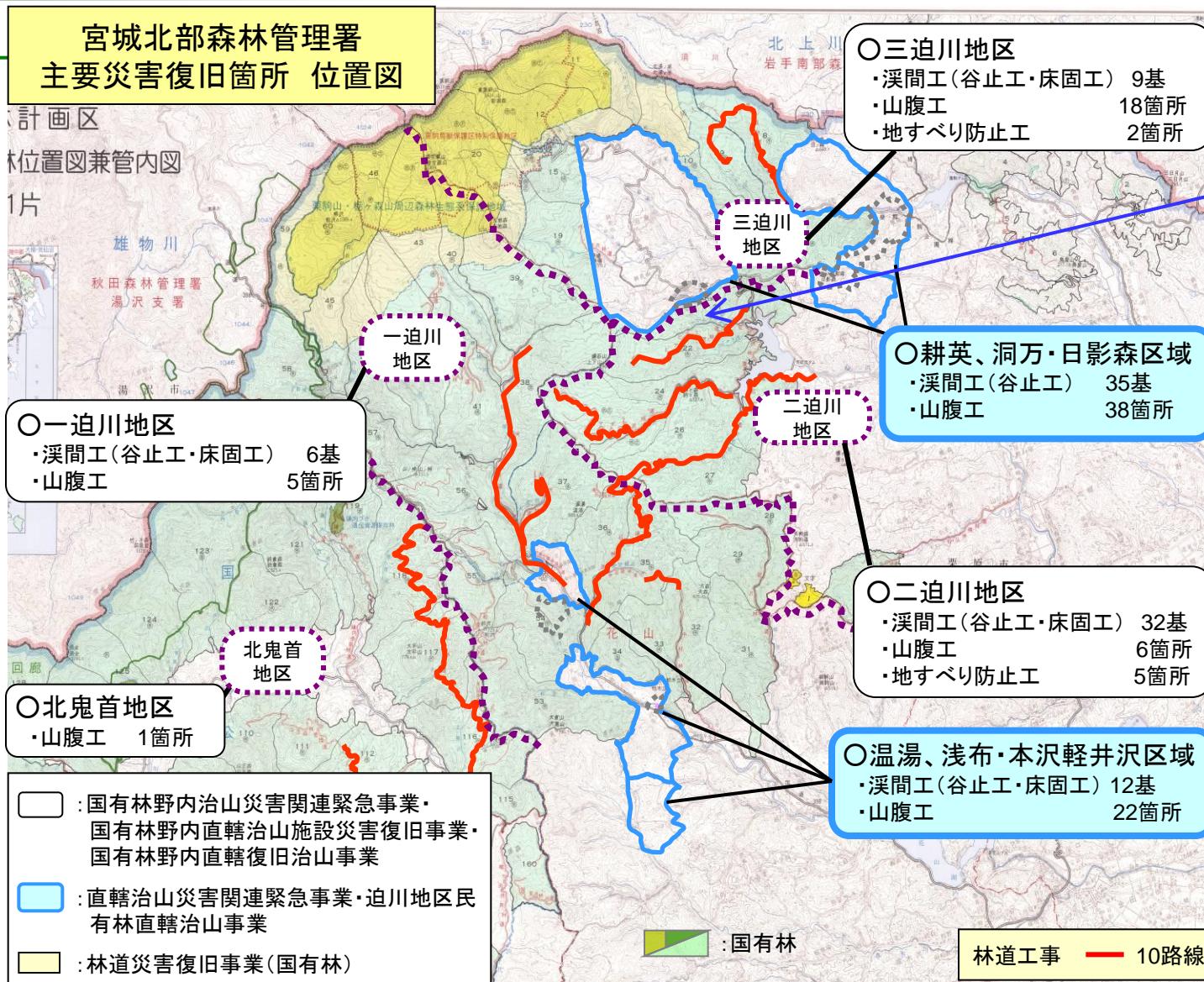
■ 概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成25年度末までに国有林治山事業で溪間工47基、山腹工29箇所、地すべり防止工7箇所、民有林直轄治山事業で溪間工47基、山腹工60箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。

平成26年度は、前年度からの継続箇所を含め、国有林治山事業で5件、民有林治山事業で9件の工事を行います。



平成20年 岩手・宮城内陸地震の記録
 2008年6月14日 午前8時43分頃発生
 地震の規模 M7.2
 最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
 震源地 岩手県内陸南部
 震源の深さ 約8km
 山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>



平成26年7月31日撮影

被災地の復旧状況 (溪間・山腹工の事例)

平成25年度
本沢軽井沢Ⅱ(24)治山工事

本施工地は栗原市花山本沢軽井沢地内に位置し、下流域には市道、民家、農地などの重要な保全対象が存在します。

地震により複数の山腹が崩壊し、大量の不安定土砂が谷に堆積しました。

崩壊の拡大と不安定土砂の流出を防止するため、被災時から復旧対策を進め、平成25年度にはコンクリート谷止工やコンクリート土留工、緑化むしろ伏工、カゴ枠工、木柵工などの溪間・山腹工が完成しました。

栗原市総合防災訓練 (パネル展示の様子)

6月15日に開催された栗原市総合防災訓練において、岩手・宮城内陸地震による山地災害と復旧対策の進捗状況を紹介します。パネル等の展示を行い、多くの市民の方々にご覧いただきました。

施工前



施工後の状況



平成26年度 工事施行箇所

復旧工事を開始しました

1 洞万西沼ヶ森(H26)治山工事 [準備工]
 測量、支障木調査などを行っています。

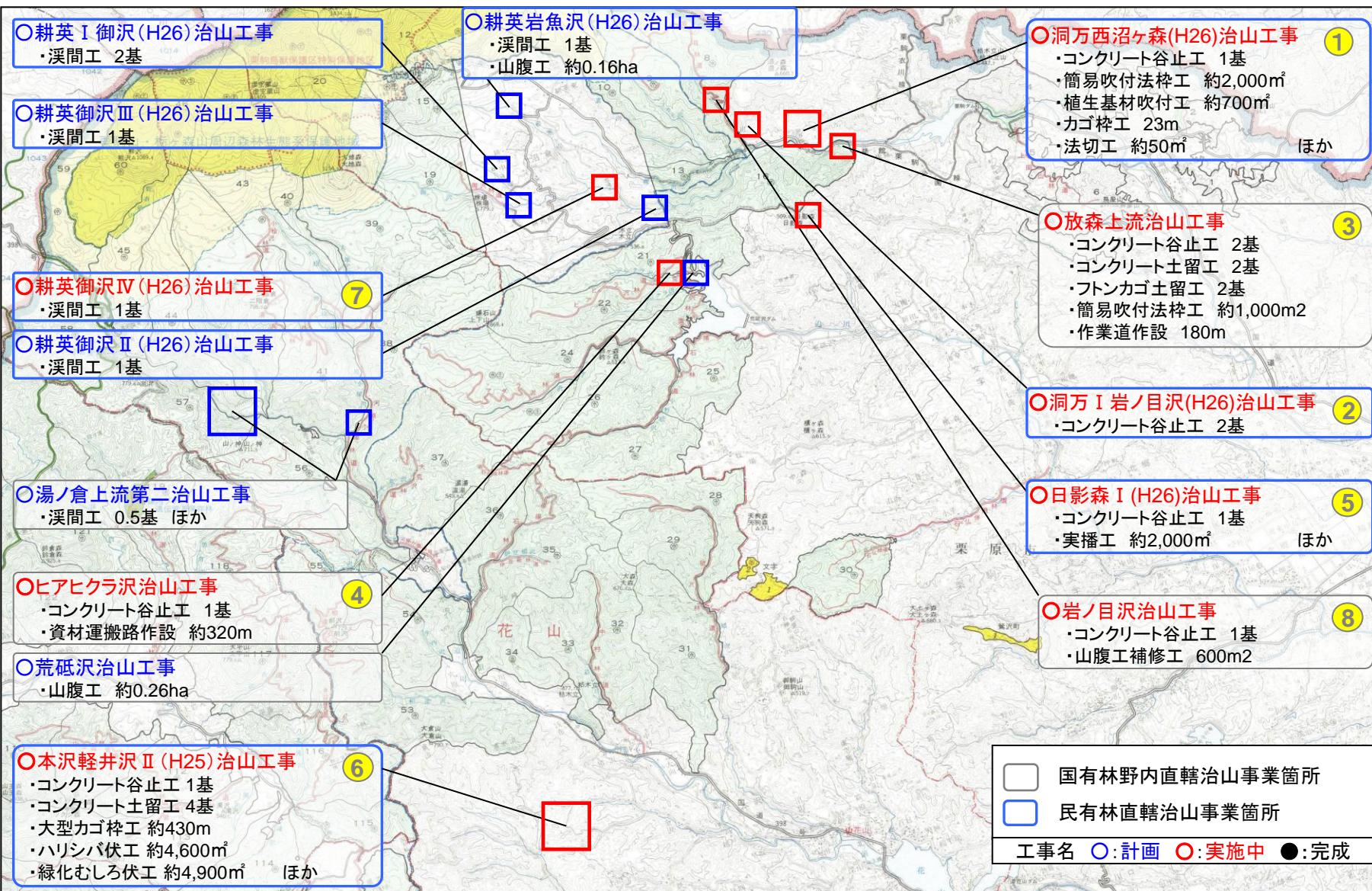


2 洞万I岩ノ目沢(H26)治山工事 [準備工]
 支障木を伐採しています。



復旧工事を進めます

6 本沢軽井沢Ⅱ(H25)治山工事 [コンクリート土留]
 床掘中です。



復旧工事を進めます

3 放森上流治山工事 [コンクリート谷止工]
 床掘中です。



4 ヒアヒクラ沢治山工事 [コンクリート谷止工]
 床掘中です。



5 日影森I(H26)治山工事 [コンクリート谷止工]
 床掘中です。



7 耕英御沢Ⅳ(H26)治山工事 [コンクリート谷止工]
 木製型枠の設置、コンクリート打設を行っています。



8 岩ノ目沢治山工事 [コンクリート谷止工]
 木製型枠の設置、コンクリート打設を行っています。

